

A collage of images related to FerroTec products. On the left, the FerroTec logo is overlaid on a blue-tinted image of a mechanical assembly. Below the logo, the text "THERMOELECTRIC MODULE", "COMPUTER SEAL", "VACUUM FEEDTHROUGH", "QUARTZ", and "CMS (Contract Manufacture)" is listed. In the center, there are several metallic cylindrical components, possibly sensors or seals, arranged in a cluster. On the right, there is a close-up image of a complex, multi-faceted metallic component, possibly a turbine or a specialized valve.

株式会社フェローテック

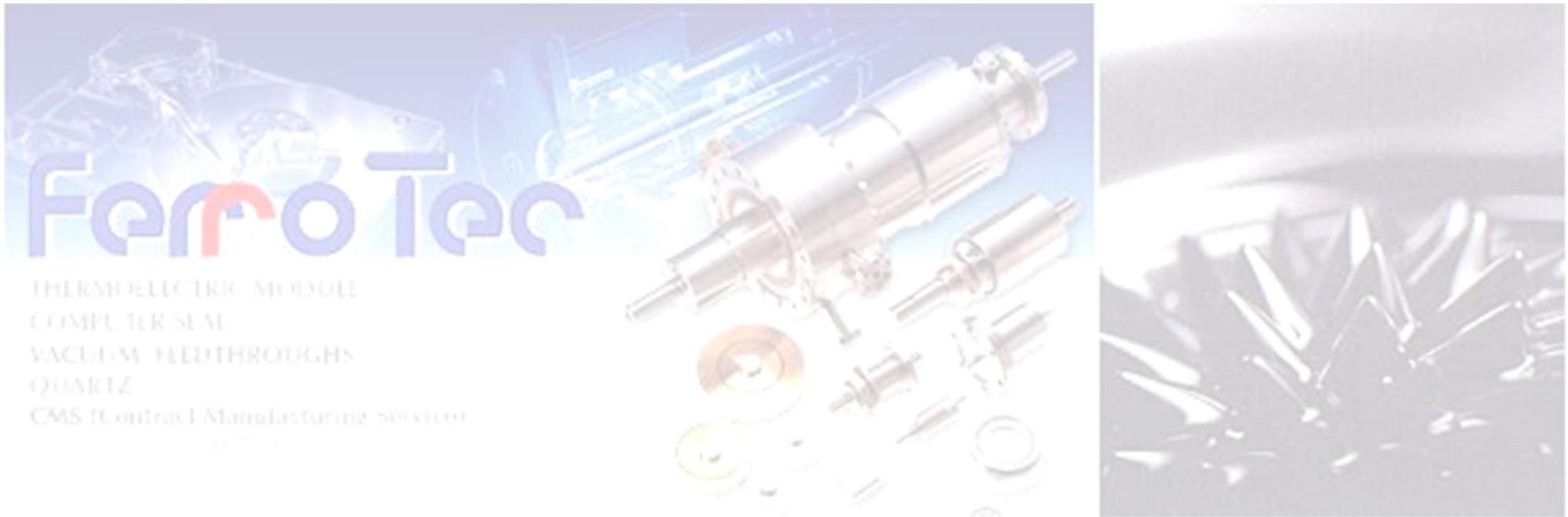
2015年3月期第2四半期 決算説明会資料

2014年11月27日

(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2014年1月～6月末の業績、フェローテック単体は、2014年4月～2014年9月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2015年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
3. 本資料は2014年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり予告なしに変更されることがあります。



2015年3月期第2四半期業績報告

連結決算サマリー



百万円	2014年3月期 2Q累計		2015年3月期 2Q累計		前期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	増減率(%)
売上高	20,229	100.0	29,238	100.0	9,009	44.5
売上原価	15,189	75.1	22,561	77.2	7,372	48.5
売上総利益	5,040	24.9	6,677	22.8	1,637	32.5
販売管理費	4,880	24.1	5,478	18.7	598	12.3
営業利益	159	0.8	1,199	4.1	1,040	653.9
営業外収益	1,257	6.2	236	0.8	△1,021	△81.2
営業外費用	886	4.4	602	2.1	△284	△32.1
経常利益	530	2.6	834	2.9	304	57.3
特別利益	659	3.3	2	0.0	△657	△99.7
特別損失	6	0.0	56	0.2	50	833.3
四半期純利益	694	3.4	354	1.2	△340	△48.9
設備投資額	1,640	-	1,314	-	△326	△19.9
減価償却費	1,981	-	1,899	-	△82	△4.1

注 為替レート2014/3期2Q→2015/3期2Q : 米ドル 95.90円→102.23円 人民元 15.53円→16.56円(期中平均レート)

連結決算サマリー



百万円	2015年3月期 2Q	
	金額	売上比(%)
売上高	29,238	100.0
売上原価	22,561	77.2
売上総利益	6,677	22.8
販売管理費	5,478	18.7
営業利益	1,199	4.1
営業外収益	236	0.8
営業外費用	602	2.1
経常利益	834	2.9
特別利益	2	0.0
特別損失	56	0.2
税前利益	780	2.7
法人税等	433	1.5
四半期純利益	354	1.2

売上増だが、セグメントの構成比が変化し、原価率若干悪化

売上増に伴い前期比増だが、売上比は大きく改善

営業外収益：持分法投資利益 76百万円
営業外費用：為替差損 106百万円

石英国内工場売却に伴う減損損失 38百万円

セグメント別売上高および営業利益



売上高 (単位:百万円)	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	10,189	50.4	12,948	44.3	2,759	27.1
電子デバイス	2,801	13.8	4,164	14.2	1,363	48.6
太陽電池	5,680	28.1	10,153	34.7	4,473	78.8
その他	1,557	7.7	1,973	6.8	416	26.7
合計	20,229	100.0	29,238	100.0	9,009	44.5

営業利益 (単位:百万円)	2014年3月期 2Q		2015年3月期 2Q		前期比	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	77	0.8	918	7.1	841	1092.2
電子デバイス	249	8.9	604	14.5	355	142.6
太陽電池	△111	-	△247	-	△136	-
その他	△24	-	△52	-	△28	-
全社消去	△31	-	△24	-	7	-
合計	159	0.8	1,199	4.1	1,040	653.9

連結貸借対照表 ～資産～



(百万円)	2014/3期 期末	2015/3期 9月末	増減額
流動資産	39,835	39,560	△275
現金・預金	7,550	8,018	468
受取手形及び売掛金	16,946	16,949	3
たな卸資産	12,406	11,958	△448
固定資産	34,887	32,926	△1,961
有形固定資産	29,041	27,108	△1,933
建物及び構築物	6,466	5,791	△675
機械装置・運搬具	11,809	10,669	△1,140
工具、器具、備品	6,593	5,693	△900
土地	708	635	△73
無形固定資産	1,613	1,438	△175
のれん	602	517	△85
投資その他資産	4,232	4,379	147
資産合計	74,723	72,486	△2,237

【流動資産】

借入金は返済をすすめ減少していますが、現金・預金については、微増とし相応の現預金を確保

【有形固定資産減少の主な要因】

減価償却 1,900百万円、子会社決算期での6月末で為替が前期末に対し円高となった事が主な減少要因

【無形固定資産の状況】

のれん償却額：
 上期実績：80百万円 下期予定：80百万円

連結貸借対照表 ～負債及び純資産～



(百万円)	2014/3期 期末	2015/3期 9月末	増減額
流動負債	28,522	29,152	630
支払手形及び買掛金	10,474	12,188	1,714
短期借入金	9,386	8,072	△1,314
1年内返済予定の 長期借入金	3,037	3,023	△14
固定負債	8,140	7,035	△1,105
長期借入金	5,673	4,331	△1,342
負債合計	36,662	36,187	△475
純資産	38,060	36,298	△1,762
株主資本	30,604	30,773	169
その他の包括利益累計額	6,884	4,977	△1,907
少数株主持分	571	547	△24
負債・純資産合計	74,723	72,486	△2,237

【流動負債増加の主な要因】

支払手形及び買掛金の増加は、主にPV(OEM)の材料仕入時期による。

【有利子負債の状況】 ()内は14/3期末時点の数値

短期借入+1年内長期借入 11,096百万円 (12,423)

長期借入 4,331百万円 (5,673)

合計 15,427百万円 (18,096)

【ネット有利子負債 7,409百万円 (10,546)】

【純資産項目】

純資産の主な変動内訳:

四半期純利益 : 354百万円

配当金 : △ 184百万円

為替換算調整勘定 : △1,994百万円

キャッシュフロー計算書



(百万円)	2014/3期 2Q	2015/3期 2Q
営業活動によるキャッシュフロー	2,013	4,373
税引前当期純利益	1,182	780
減価償却費	1,981	1,899
為替差損益(△:益)	△732	111
事業構造改革引当金の増減(△:減少)	462	-
売上債権の増減(△:増加)	3,430	△1,067
たな卸資産の増減(△:増加)	△942	△83
仕入債務の増減(△:減少)	△932	2,585
その他	△2,436	177
投資活動によるキャッシュフロー	△1,761	△1,123
有形固定資産取得による支出	△1,640	△1,314
有形固定資産の売却による収入	31	327
投資有価証券、有価証券の取得による支出	△67	△92
投資有価証券、有価証券の売却による収入	760	-
その他	△845	△44
財務活動によるキャッシュフロー	115	△2,513
短期借入金の増減額	1,579	△960
長期借入れによる収入	300	200
長期借入金の返済による支出	△1,573	△1531
配当金の支払額	△152	△184
その他	△39	△37
現金及び現金同等物の増加額	841	467
現金及び現金同等物の期首残高	7,373	7,550
現金及び現金同等物の期末残高	8,215	8,018

【営業CFの状況】

税引前利益+減価償却:	2,680百万円
売上債権増加による営業CFの減少:	△1,067百万円
棚卸資産増加による営業CFの減少:	△ 83百万円
仕入債務増加による営業CF増加:	2,585百万円

【投資CFの状況】

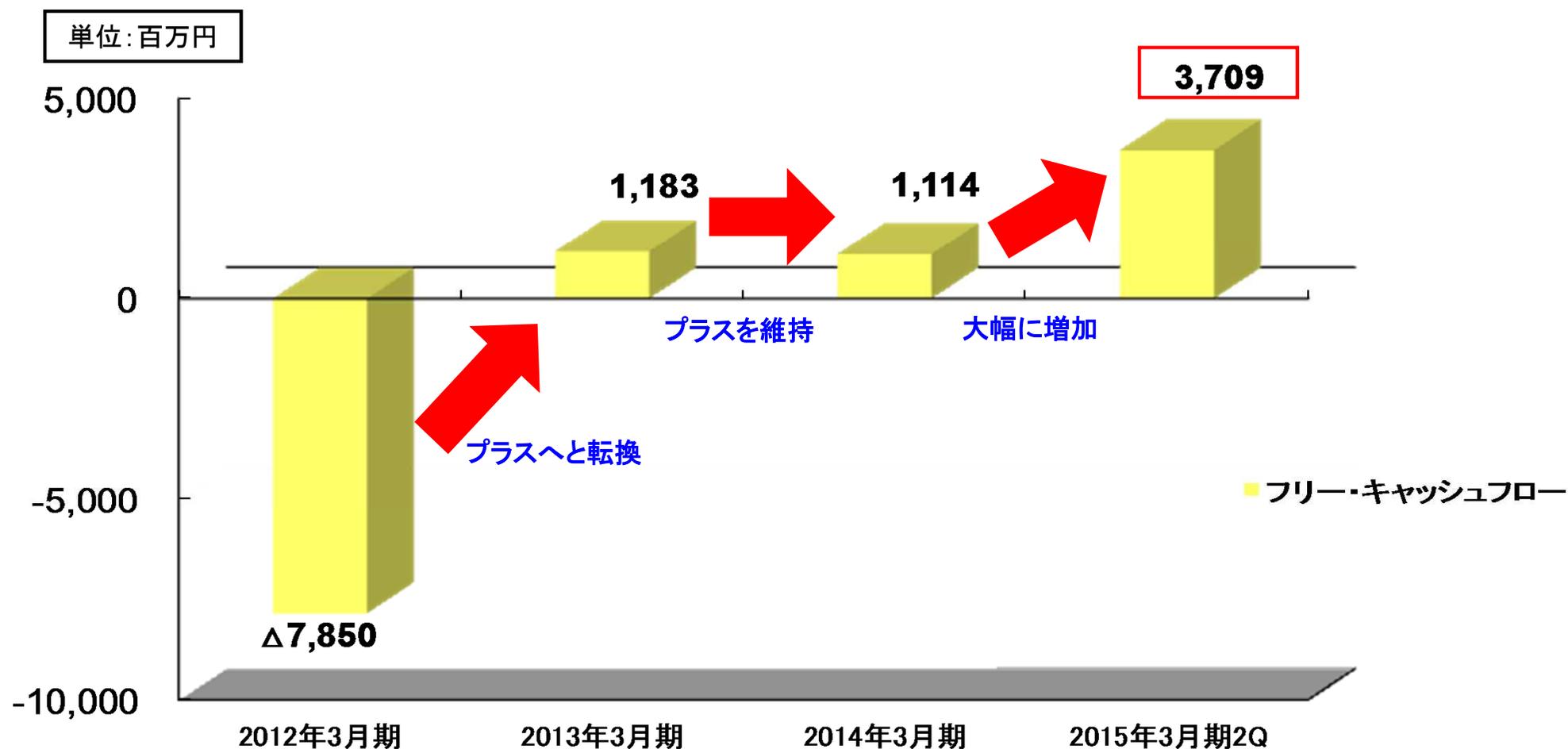
有形固定資産取得支出の主な内容
・上海子会社: 452百万円
・杭州子会社: 459百万円
・銀川子会社: 316百万円

【財務CFの状況】

・短期借入金増減: △ 960百万円
・長期借入金増減: △1,331百万円

- ・2013年3月期以降フリー・キャッシュフローはプラスのまま増加。2Q時点で3,709百万円
⇒増加した資金は今後の成長原資として活用

※フリー・キャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー



通期業績見通し



(百万円)	2014/3期	2015/3期	2015/3期	2015/3期と各数値の比較	
		期初予想	修正予想	2014/3期比(%)	期初計画比(%)
売上高	44,745	50,000	56,000	25.2	12.0
営業利益	798	1,800	2,000	150.6	11.1
経常利益	1,262	1,000	1,500	18.9	50.0
当期純利益	1,391	700	800	△42.5	14.3
設備投資額	3,825	3,000	3,000	△21.6	0
減価償却費	3,941	4,200	4,000	1.5	△4.7

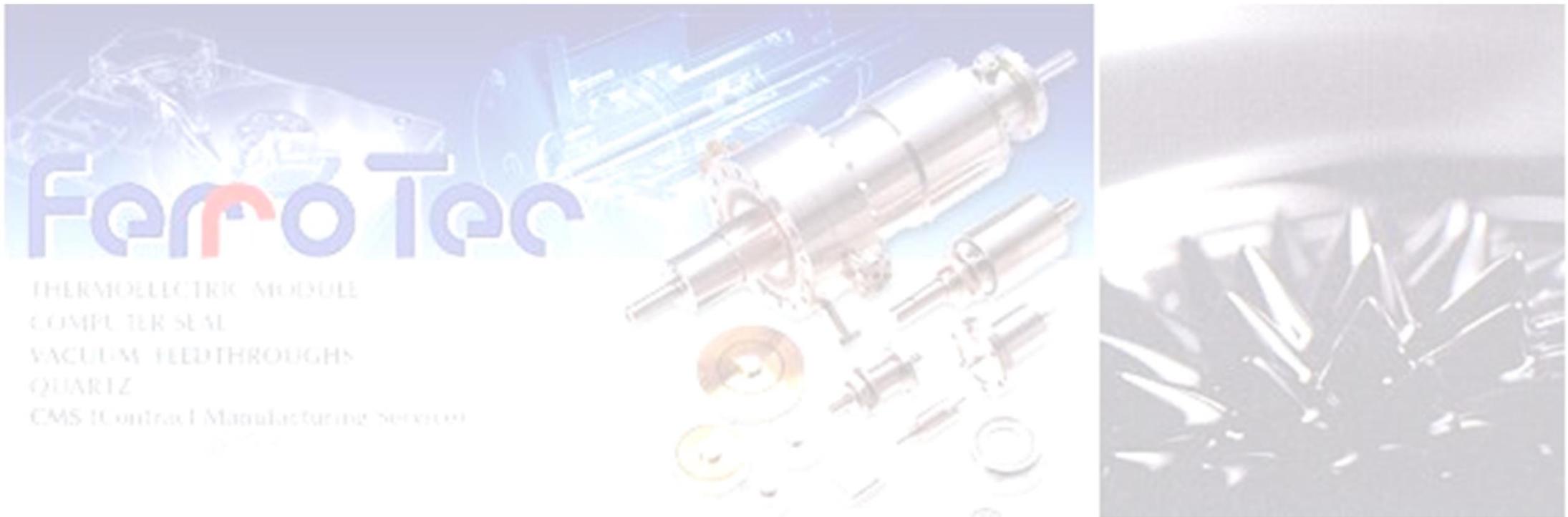
注 為替レート2014/3期→2015/3期予想レート：米ドル 97.90円→105.00円 人民元 15.97円→17.00円

設備投資は、大規模設備投資未計画、前期末設備未払金を考慮したCFベースの数値です。

通期業績見通し(セグメント別売上高)

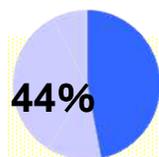


(百万円)	2014/3期	2015/3期(計)	前期比 (%)
装 置 関 連	21,628	25,150	16.3
真空シール	5,422	7,790	43.7
石英製品	4,484	5,010	11.7
セラミックス	3,965	5,000	26.1
EBガン・LED蒸着装置	3,242	3,300	1.8
ウエーハ加工	4,515	4,050	△10.3
電 子 デ バ イ ス	6,609	8,370	26.6
サーモモジュール	6,054	7,630	26.0
磁性流体・その他	555	740	33.3
太 陽 電 池	13,203	18,360	39.1
石英坩堝	3,699	3,180	△14.0
太陽電池用シリコン	7,570	11,810	56.0
シリコン結晶製造装置	687	510	-25.8
セル・その他	1,247	2,860	129.4
そ の 他	3,304	4,120	24.7
合 計	44,745	56,000	25.2



セグメント別の状況と今後の見通し

セグメント



44% 装置関連セグメント

真空シール



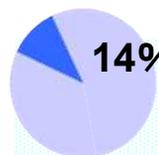
石英製品



セラミックス製品

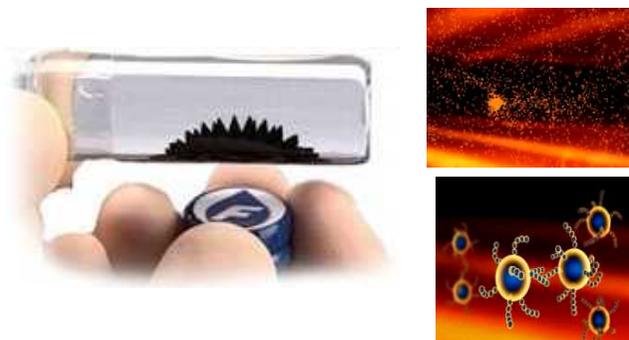


ウェーハ加工



14% 電子デバイスセグメント

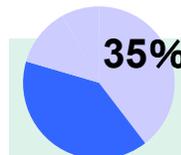
磁性流体



サーモモジュール



パワー半導体用基板



35% 太陽電池セグメント

太陽電池用シリコン(OEM)

単結晶



多結晶



PV用ウエーハ



消耗品群

石英坩堝



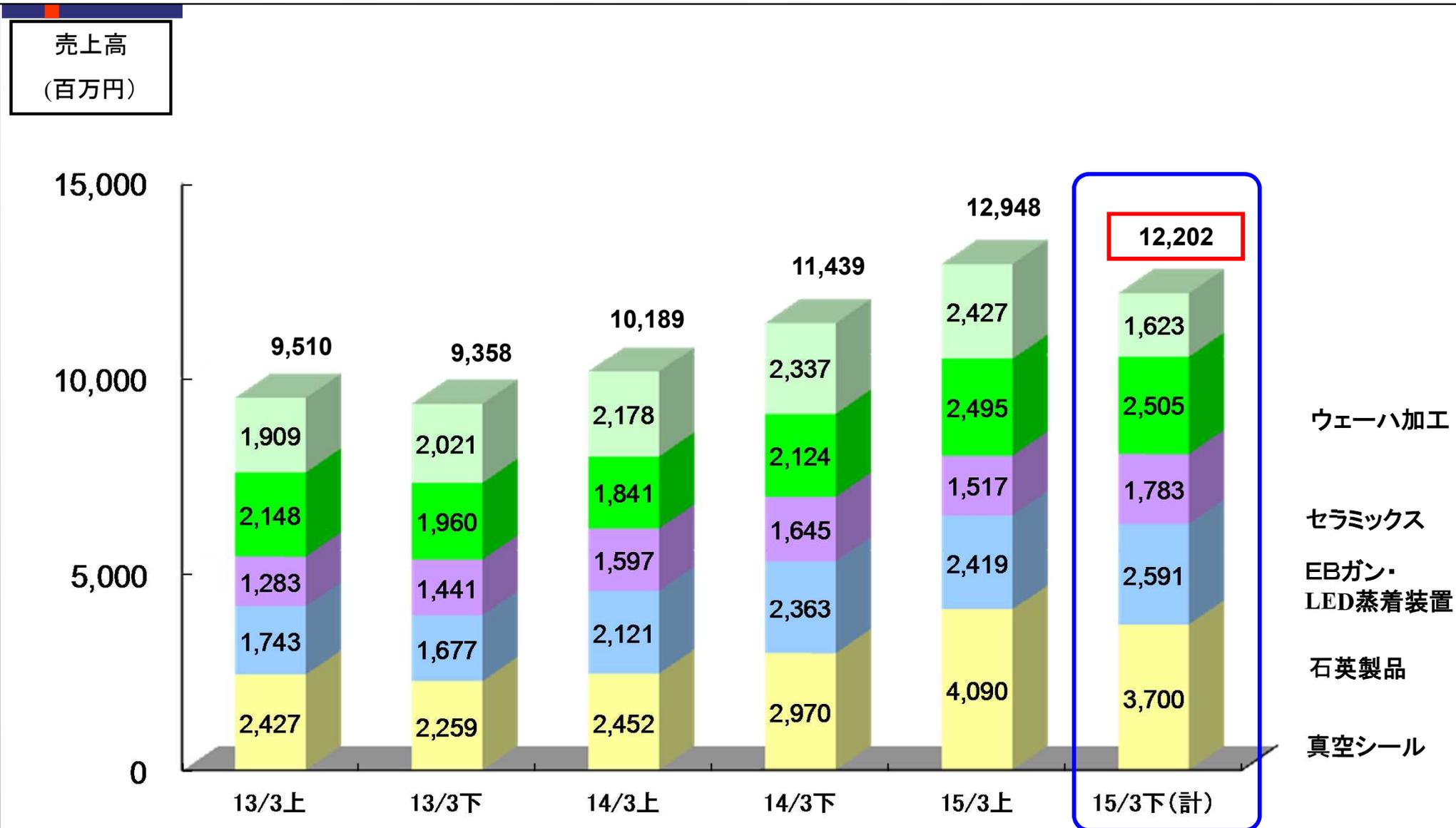
カーボン坩堝

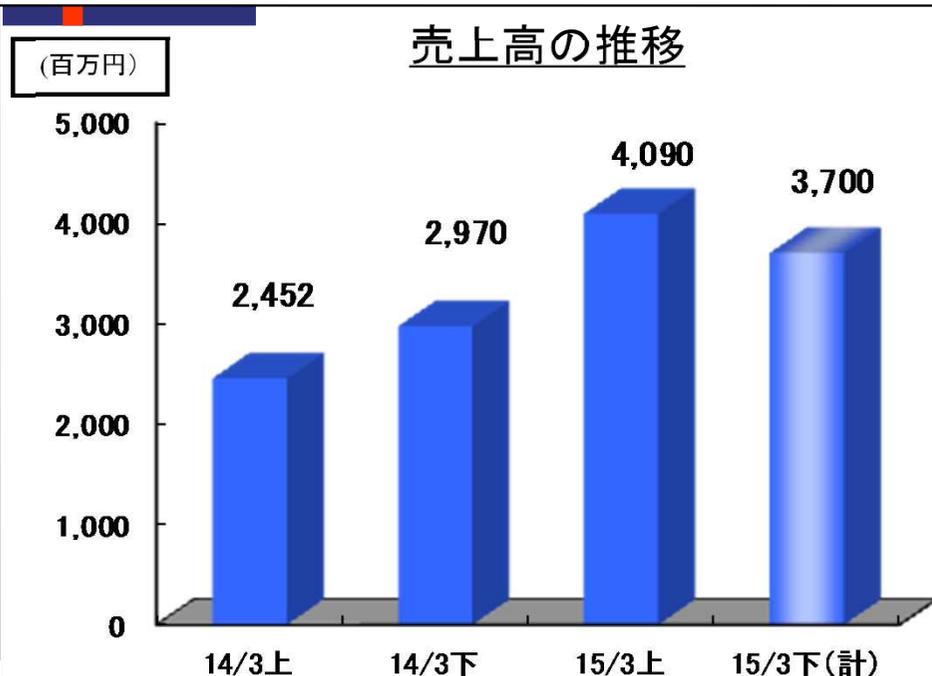


角槽坩堝

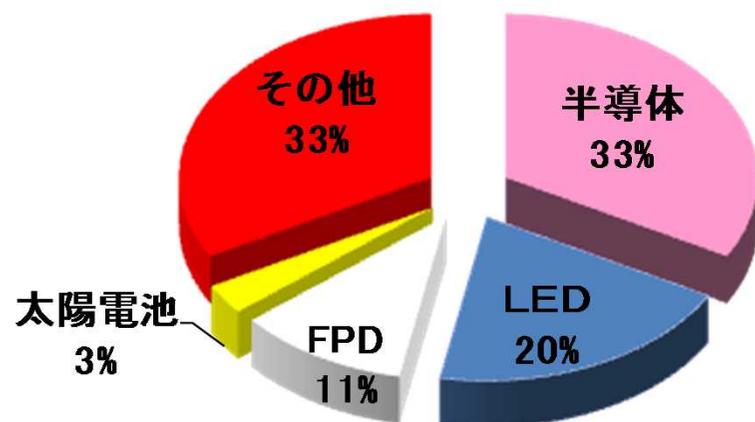


装置関連セグメント





真空シール関連事業の販売先業種別シェア



注) その他: 産業用真空装置、航空、医療、科学など

1. 15/3期上期の業績

- FPD市場は携帯端末向けが鮮明になり、中小型液晶製造装置、有機EL製造装置の需要が堅調であった。
- 自動車搭載用途でデバイスメーカーは好調であった
- 半導体は3D・微細化投資継続で上昇。
- 受託製造は、主に半導体装置向けが堅調に推移した。
- LED市場は照明向け、LCDバックライト向けが好調。

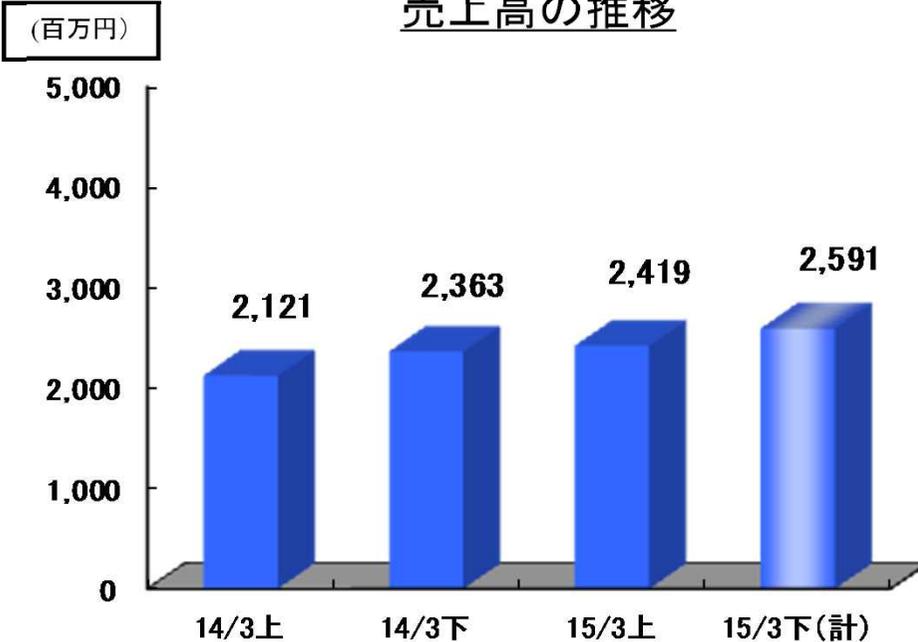
2. 15/3期下期の見通し

- 半導体向は継続的に緩やかな成長を見込む。
- FPD市場は中国メーカーの投資計画もあるが中小型パネルについては価格低下、需要減速の懸念あり。
- 車載向けLED用MOCVDが徐々に増加に転じる見込み
- 中国進出の日系企業との取引拡大

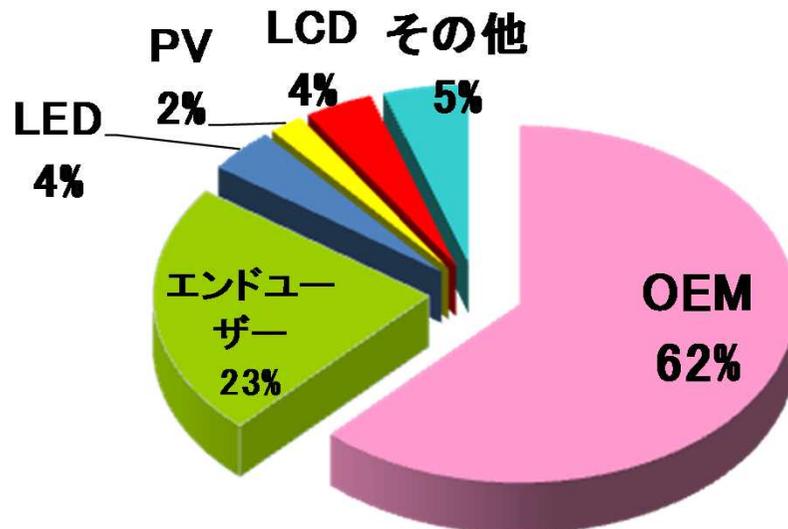
《施策》

- 一般産業の受託装置サブアッセンブリーの継続
- 台湾市場での営業・O/H事業の強化
- 受託製造は、医療機器、食品関連機器を強化
- 日本企業とのアライアンスで中国市場を開拓

売上高の推移



石英製品の販売先業種別シェア



1. 15/3期上期の業績

- 米国・国内大手半導体OEMからの受注で繁忙続く
- 国内・アジア企業の稼働率高止まりで堅調
- 超高純度製品を中国生産で量産開始
- 顧客の短納期要請が継続(国内・台湾)
- 付加価値品対応にて価格維持と材料コストダウン実施による収益改善を進める

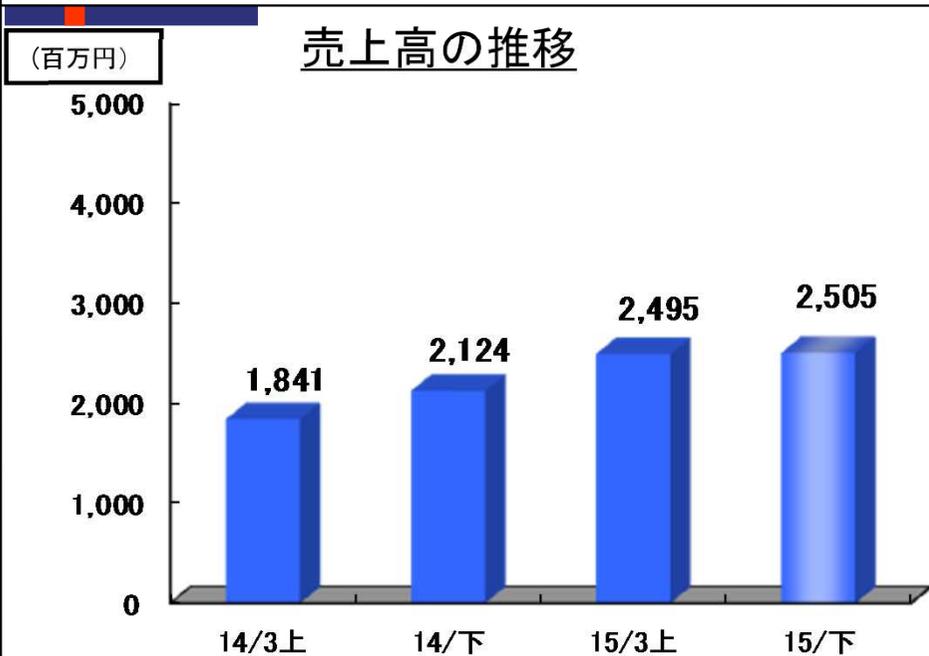
2. 15/3期下期の見通し

- 米国大手OEM (SWP) は好調継続の見込み
- 国内大手OEMはピークアウトから再上昇の見込み
- 国内・アジア企業の稼働率高止まり継続の見込み
- スマホ用途の需要増によりLED向け製品が徐々に増加

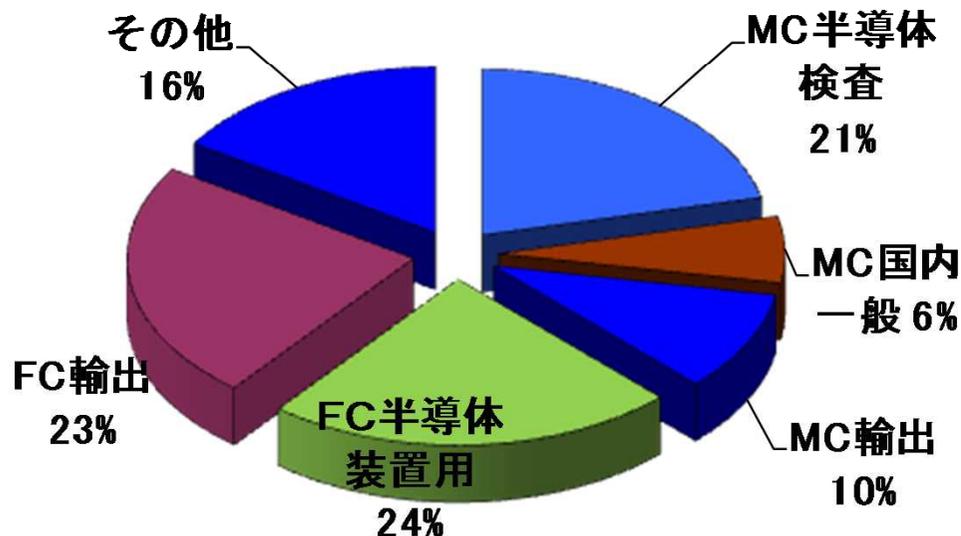
《施策》

- 中国拠点で集約生産し、コスト低減を図る
- シリコンパーツの次世代・他プロセス装置への参入
- 台湾への短納期・安定品質・カスタマイズ対応継続

セラミックス製品の状況と今後の見通し



セラミックス製品の製品別販売シェア



注)FC:ファインセラミックス、 MC:マシナブルセラミックス(ホトベール)

1. 15/3上期 (1-6月)の業績

マシナブルセラミックス “ホトベール”

- ・ スマートフォンおよびタブレット需要に牽引され、Wafer回路検査治具は国内外合わせて 受注・販売ともに増加。
- ・ 米国向け医療用関連部品は、需要が安定的に継続。

ファインセラミックス

- ・ 半導体関係の微細化投資の影響で、国内外装置メーカーからの受注・販売は 昨年後半から年初にかけて高いレベルを維持・継続。

2. 15/3下期 (7-12月)の見通し

マシナブルセラミックス “ホトベール”

- ・ スマートフォン新機種対応等で 夏場に台湾・韓国の需要家から大口の引き合いあり。秋以降、一部調整色あるも基本基調変わらず。

ファインセラミックス

- ・ 半導体業界の活発な微細化・増産投資の影響により、国内外より新規装置用の受注好調。販売も堅調に推移の見込み。

3. 継続販売方針

〈マシナブルセラミックス〉

- ・ Wafer回路検査治具のニーズの変化に迅速に対応することで、次世代タイプの取り込みに注力する。

〈ファインセラミックス〉

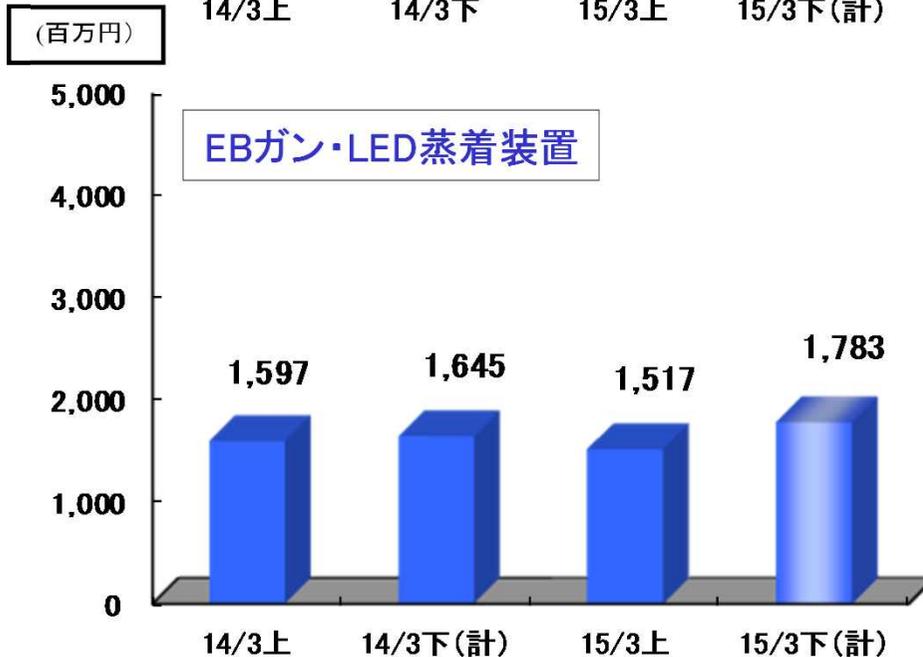
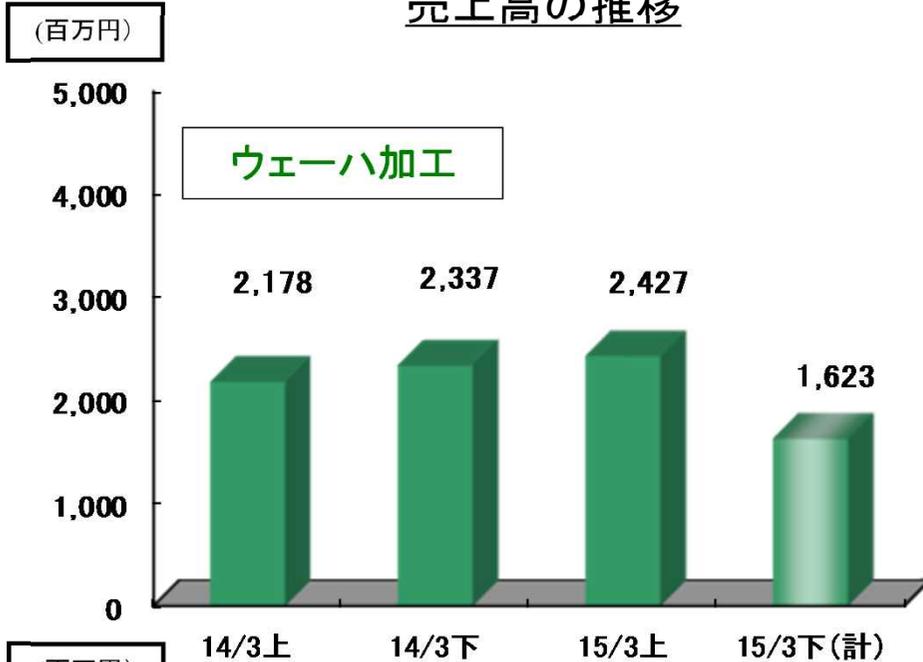
- ・ 需要家の微細化・3D化大型投資により、装置需要が増加することが期待される。開発品も含め セラミックス製品需要の取り込みに注力する。

〈共通〉

- ・ 新規顧客開拓、新用途開拓(医療機器関連等)の営業活動を継続する。

ウェーハ加工と蒸着装置の状況と見通し

売上高の推移



半導体ウェーハ:

1. 15/3期上期の業績

- 市況が順調のため自社ブランド品は堅調に推移
- 中国・台湾市場は堅調に推移し、売上は底堅い

2. 15/3期下期の見通し

- 自社ブランド品は好調を維持
- 年末にOEM先の生産調整を見込む

《施策》

- インゴット製造を内陸部の銀川移設の立案
- 技術・品質等サービス体制を整備

EBガン・蒸着装置:

1. 15/3期上期の業績

- 需要も一服感、LED市場は回復遅れの市場環境

2. 15/3期下期の見通し

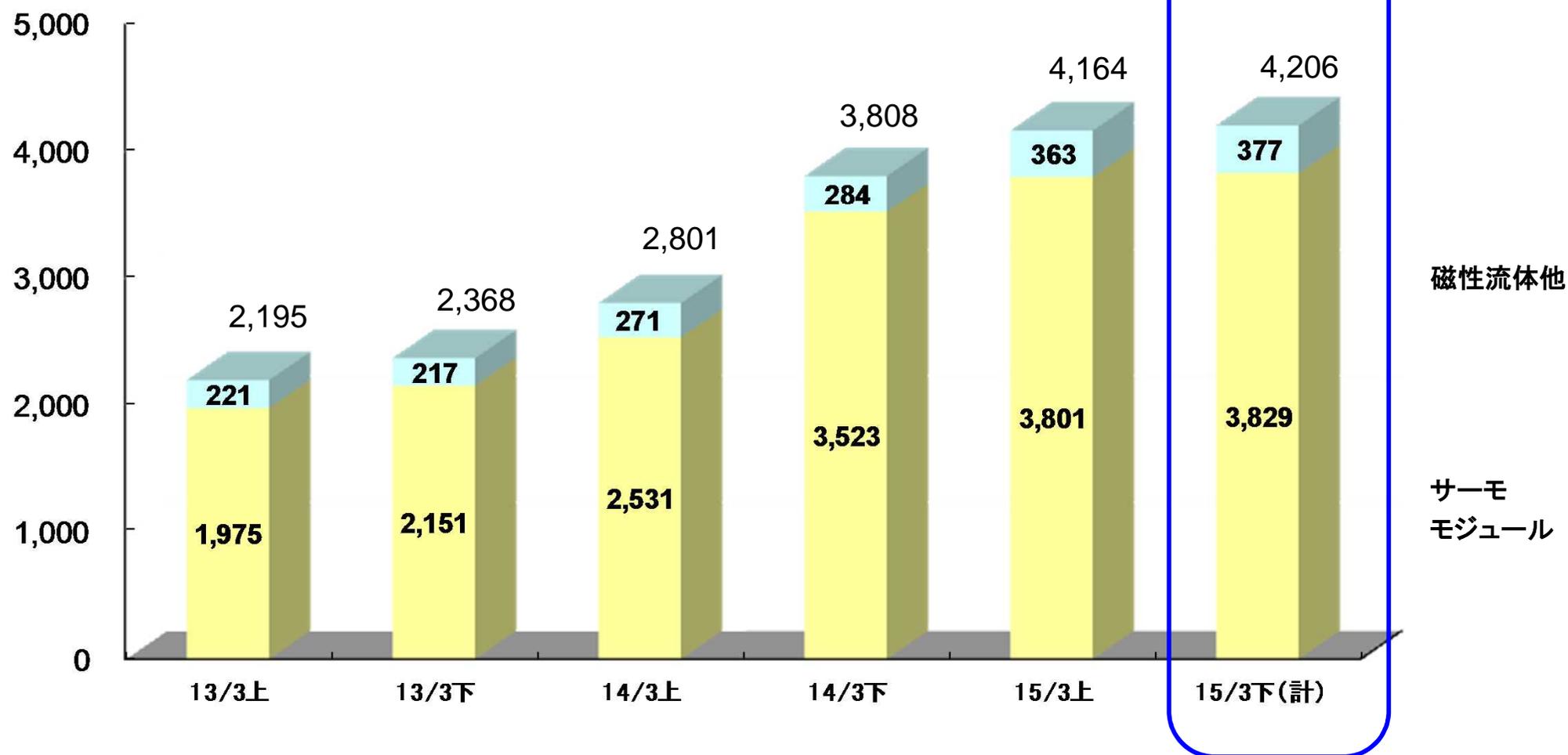
- スマホ用通信チップ拡大し、LED市場は回復に転じる見込み

《施策》

- 光学市場に的を絞り、営業活動を行う
- EBガン 欧州市場のテコ入れ不透明感払拭狙う

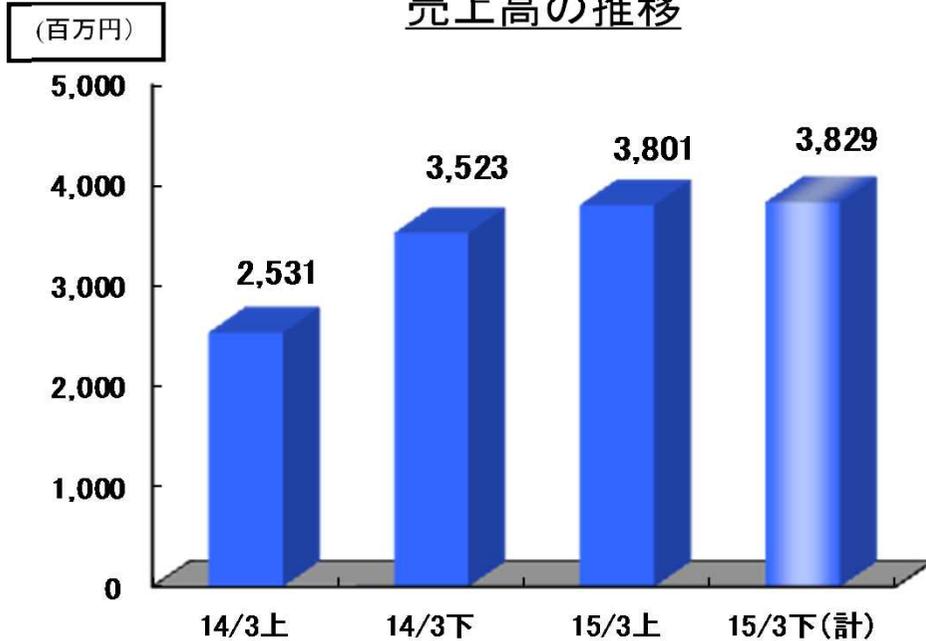
電子デバイスセグメント

売上高
(百万円)

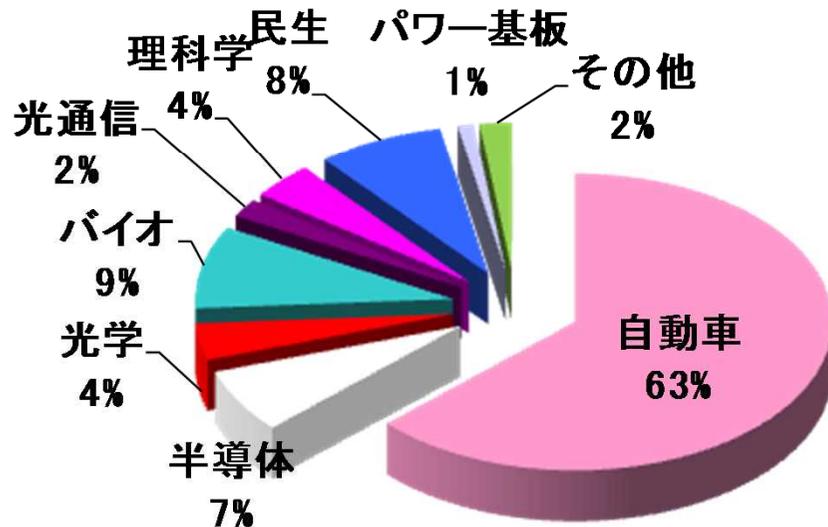


サーモモジュール製品の状況と今後の見通し

売上高の推移



サーモモジュールの業種別販売先シェア



1. 15/3期上期の業績

自動車温調シート

- 北米を中心に好調であり、増産を実施

その他の産業用途

- 主な産業用途が堅調に推移し、新規用途も開拓
- パワーデバイス用基板は、採用機種増で成長路線に入る

2. 15/3期下期の見通し

自動車温調シート

- 北米の強い需要、安定した継続を見込む

その他の産業

- 中国での光通信設備向けの需要も堅調
- バイオ・医療、一般産業用途全般、堅調～好調を見込む
- パワーデバイス用基板、新規の量産立上を計画

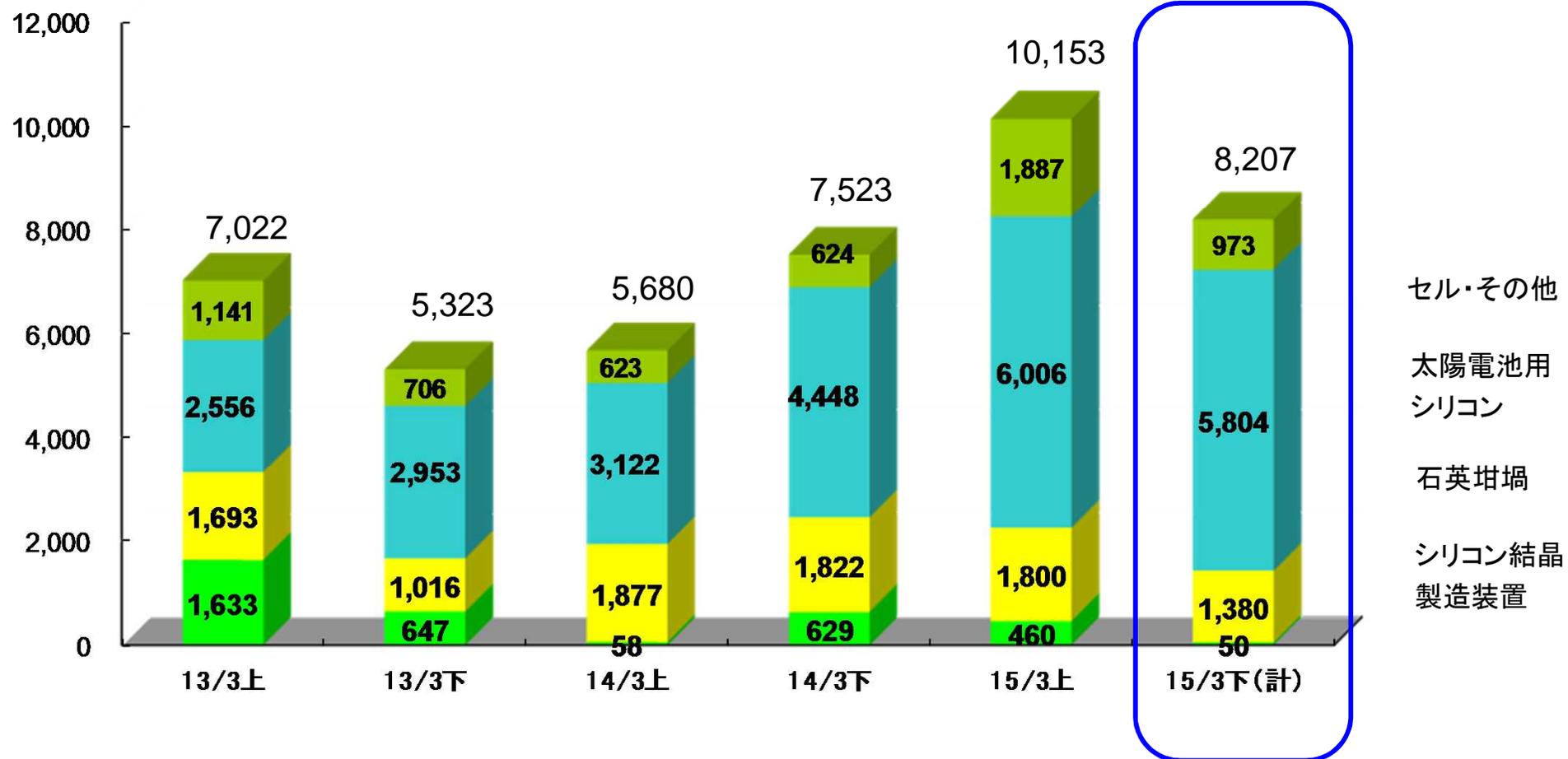
《施策》

- 提案営業で顧客満足度の向上を図る
- お客様のTE応用製品の立上げサポートを強化する
- 新規の用途に対応できる新型モジュール製品の立ち上げ
- パワーデバイス用基板、新規の量産立上を計画

太陽電池セグメント

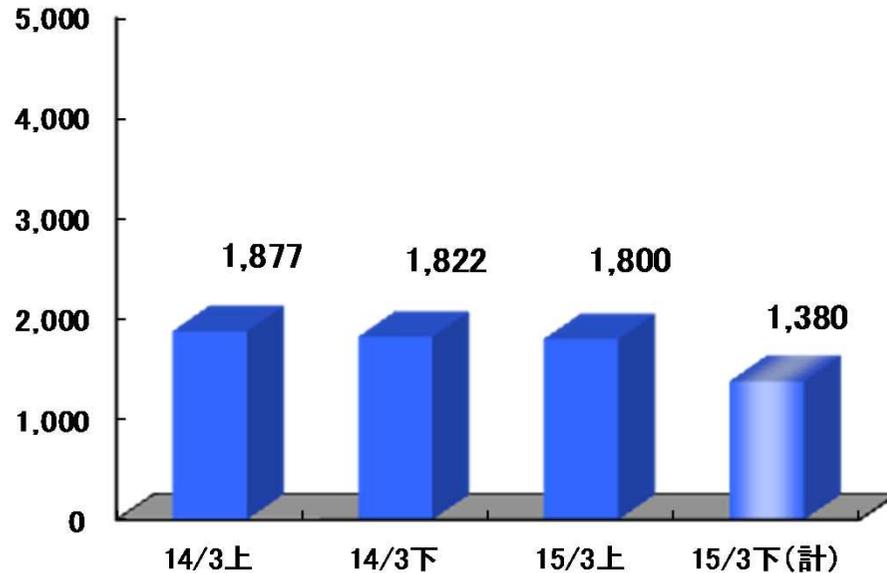


売上高
(百万円)

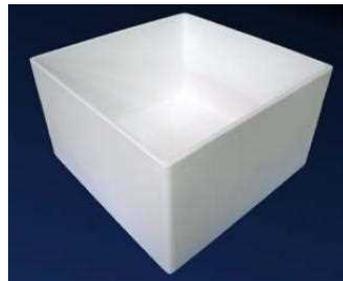


売上高の推移

(百万円)



単結晶用石英坩堝



多結晶用角槽

1. 15/3期上期の業績

- 需要は回復傾向が続くも、価格の値戻りなし
- 長寿命品で顧客ニーズに対応
- 半導体用途は小口径向け販売を進める
- 多結晶用の角槽は数量フラットで推移

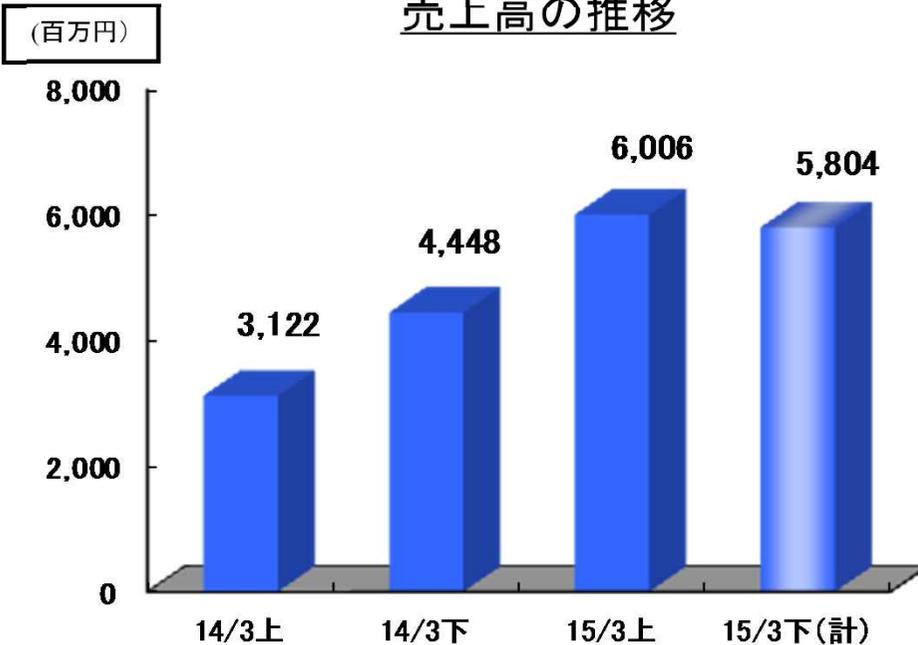
2. 15/3期下期の見通し

- 米国アンチダンピング施策で需要減の見込み
- 半導体用途は小口径向け販売の継続
- 台湾向け多結晶用角槽が影響を受ける見込み
- 中国多結晶市場G5サイズからG6サイズに営業強化

《施策》

- 長寿命品の投入にて価格転嫁を図る
- 銀川工場移管でコスト低減に努める
- 国内半導体メーカー向け認定取得の継続

売上高の推移



単結晶
インゴット



多結晶
インゴット



シリコンウェーハ

1. 15/3期上期の業績

- 新規OEM先の認定取得へ向けて評価進行。来年度の量産化を期待
- 顧客ニーズは、高変換効率のN型単結晶
主要OEM先は好調に推移
- 多結晶ニーズは、特に中国内で強いが、価格低迷
- ユーザー間の競争激化でコストダウンの要求厳しい

2. 15/3期下期の見通し

- OEM先の需要は堅調だがコスト要求はさらに厳しく
- 米国のアンチダンピング政策と中国の報復関税措置の影響が不透明
- 細線化技術は、さらに先端技術へトライ
- 多結晶製品の価格注視、不透明感続く
- 中国政府導入量 年間14GWから10GWへ下方修正
- 日本の系統接続問題の影響も懸念

《施策》

- 結晶製造を銀川工場へ集中し、フル稼働
- 固定砥粒、薄型ウェーハの細線化対応促進
- N型単結晶の性能向上で顧客拡大を目指す